◀そのほかの取材記事はこちらから

向坂 奈穂美 赤こんリポーター



どんな未来がいい？を考えてみよう

さまざまな仕事を体験できる「こども×まちフォーラム」が９月 12 日に桐原コミュニティセンターで開催されました。子どもたちは、たくさんある体験ブースからやりたいものを選んで、ハーバリウムやアート作品を作ったり、本物のユニフォームを着て写真を撮ったり。楽しそうな声と笑顔にあふれていました。

“みらい会議”では、近江八幡の地図を囲んで「〇〇があったらいいな」をワイワイ話しながら楽しいマップ作り。「子どもの声にじっくり耳を傾ける時間」を大人も一緒になって純粋に楽しめている姿が印象的で、地域の温かさを実感した素敵なイベントでした。

三上 香帆 赤こんリポーター



湧水とコスモスに癒(い)やされる！ 金剛寺町の子連れお出かけスポット

道路から見える「湧水」の看板がずっと気になっていたのですが、今回初めて金剛寺町の「いにしえの湧水池」に訪れました。看板に導かれて湧水池へ到着すると、底まで透き通る驚くほど綺麗な水が広がり、風情ある水車が出迎えてくれます。また道中では、秋の訪れを感じる色鮮やかなコスモスが綺麗に咲き誇っていました。

町を挙げて大切に守られている「生物保護区域」の周辺では、蝶やトンボ、カタツムリなどさまざまな生き物たちに出会うことができます。豊かな自然の中で子どもたちが目を輝かせながら虫を捕まえ、夢中になって遊べる、温かい魅力がぎゅっと詰まった素敵な場所でした。

山田 恵美 赤こんリポーター



本の貸出や返却がさらに便利に 読書の秋を楽しもう

システム更新のための休館を終えた近江八幡図書館へ訪れると、セルフ貸出機と自動返却機が新たに設置されていました。20 冊までの本（視聴覚資料を除く）であれば、セルフ貸出機を使用して自分で貸し出し手続きができます。利用カードを読み取り、借りたい本の冊数を入力し、本を所定の場所に載せたらあっという間に貸し出し完了。さっそく利用してみましたが、とてもスムーズで簡単に操作でき、また利用したいと思いました。自動返却機は返したい本をポストの投函口に入れると、すぐに「貸出一覧」から削除され、とても便利。読書の秋、たくさんの本との出会いに、そして新しいシステムを利用しに図書館へ行ってみてください。

松村 美沙枝 赤こんリポーター



ママミーティング部×みんなの〇〇 café

９月 24 日、市民共生センターでママミーティング部主催「マクラメハンドストラップ作り」が開催されました。ママミーティング部とは、親子を主体に子育てを通してつながる場。ママが興味のあることを、託児スペースを設けながら開催されています。この日開催されていたのは、リサイクルヤーンから編むストラップ作り。またこの日は「〇〇 cafe」という子ども食堂も同時開催。季節の野菜たっぷりのサラダとスープに、たくさんの親子が笑顔をほころばせていました。

市内のイベント情報はこちらから▶

9月18日



祝 白寿「長生きの秘訣は」

敬老の日を前に、徳永市長が白寿（99 歳）を迎えた市内の高齢者を訪問しました。今年の白寿は昭和２年４月２日から昭和３年４月１日までに生まれた人で、お祝いの対象者は 43 人。そのうち代表の６人が市長の訪問を受け、歓談しながら敬老祝金と祝いの品のシャボンフラワー、祝い状を受け取りました。

池田町在住の万野きくさんは「長生きさせてもらってありがたいです。健康の秘訣は、百歳体操をしたり、歌を歌ったりすることです」と笑顔で話していました。

10月5日



木のお医者さんがやってきた

公共施設での快適な緑の空間を守るため、今年から樹木医の派遣事業が始まり、本市では馬淵こども園など６か所に樹木医が訪れました。

滋賀県緑化推進会は、これまでも「緑の募金」などを活用して、広場や公園に苗木の配布や植栽を行ってきました。しかし、気象災害の増加や人口減少などにより、植栽後の管理方法に関する不安の声を受け、樹木医が樹木の状態を診断し、安全・安心の場を守っていくことになりました。

樹木医を迎えた馬淵こども園では、樹木医がトンカチを片手に木をたたく様子を子どもたちが不思議そうに眺め、「私もやりたい」と樹木の周りに集まっていました。

10月10日



灯りと音楽が彩る八幡堀まつり

八幡堀まつりが開催され、竹灯りワークショップやスタンプラリー、マルシェなどが行われ、訪れた人は思い思いにまち歩きをしながら、秋の一日を満喫しました。

また、「ふるさと音楽祭」では地元の小中高生やアーティストが、日牟禮八幡宮など４会場で吹奏楽や尺八・箏(こと)、和太鼓、ジャズなどを披露。俳優の副島淳さんのトークショーも行われ、八幡堀まつりを盛り上げました。

夕暮れには点灯式が行われ、八幡堀周辺に設置した竹灯りや町並みに灯りがともると、訪れた人は昼間とは一変した景色を眺めながら、夜の八幡堀を歩いていました。

10月3日



楽しみながら学ぶ防災

「もしも」のときに家族や地域を守る力を楽しみながら身につけてもらおうと、「防災スポーツひろば」が運動公園で開催されました。会場には、トイレカーやはしご車などの車両をはじめ、避難所用パーテーションや簡易ベッド、感震ブレーカーなどの災害時に役立つさまざまなグッズが並び、参加者は説明を聞きながら、日頃から備える大切さを学びました。また、医師や災害支援ナース、救急救命士などの専門家から、災害時に役立つ知識や行動のポイント、日頃からの備えについて学びました。ニュースポーツや消防迷路などの体験もあり、子どもから大人まで、楽しみながら防災について考える機会となりました。